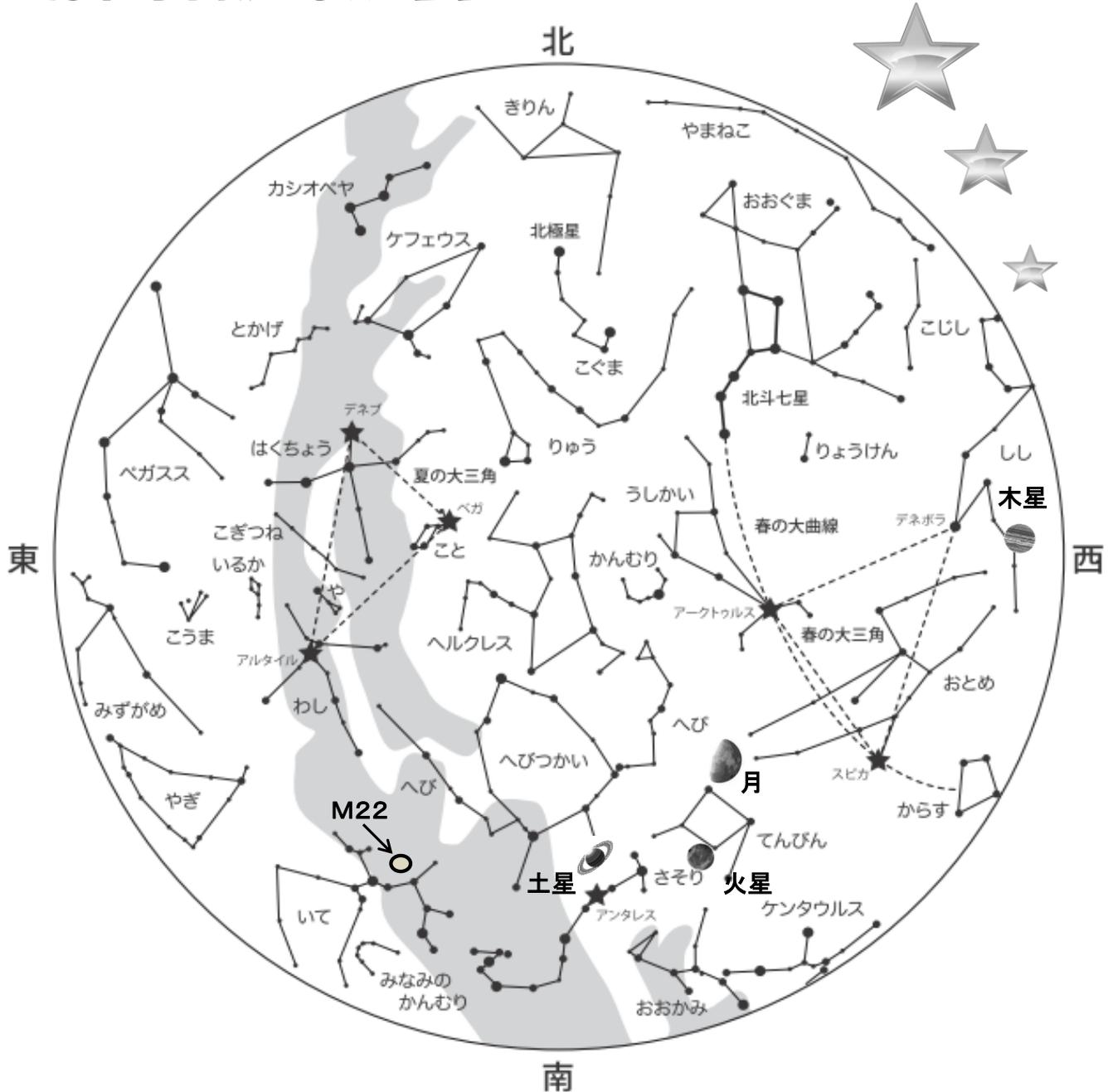


# 松江市立天文台～7月の天文教室～

## 7月中旬午後9時頃の星空～

平成28年7月13日

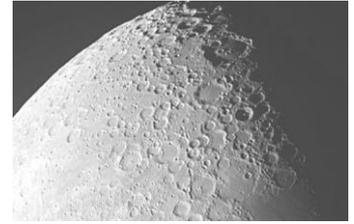


梅雨明けが待ち遠しいですね。暗くなった空は、夏の星座と惑星の共演で、とてもはなやかです。日が暮れて暗くなると、南の空に注目です。さそり座のそばに、真っ赤に光る火星と、美しいリングを持つ土星が見られます。火星は5月終わりに最接近しましたが、まだ大きく見えていて表面の様相も観察できます。土星は美しい輪のある姿を見られます。

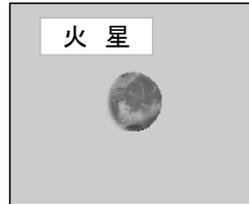
7月中旬午後9時頃の星空です。  
月、木星、火星、土星の位置は7月13日現在のものです。  
各天体の見かけの大きさは強調してあります。  
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

## 今夜の月

今夜の月は月齢9、上弦の月(半月)を1日ほど過ぎたところです。  
月は地球の衛星で、表面の地形が肉眼でも見える唯一の天体ですが、望遠鏡で見ると、クレーターのあるダイナミックな地形を楽しめます。



## 太陽系の仲間たち～火星と土星



### 土星

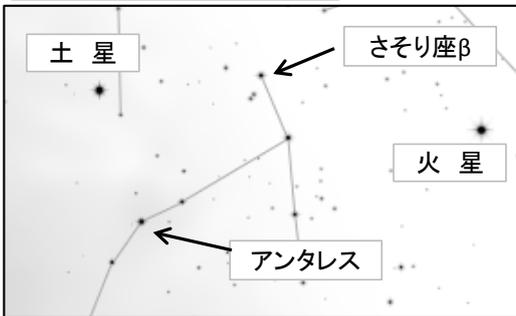
土星のリングの正体は、数mmから数10cmの氷や岩石で、リングの厚さは数百mとされています。

すこし離れて土星最大の衛星タイタンも見られます。

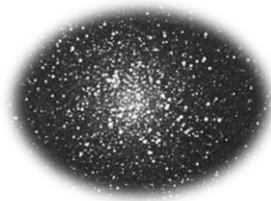
### 火星

火星は2年2カ月ごとに地球に接近し、地形を観察することができます。

## 夏の星たち



さそり座のβ星は、肉眼ではひとつの星ですが、天体望遠鏡で拡大すると、2.5等星と5等星の二つに分かれて見えます。

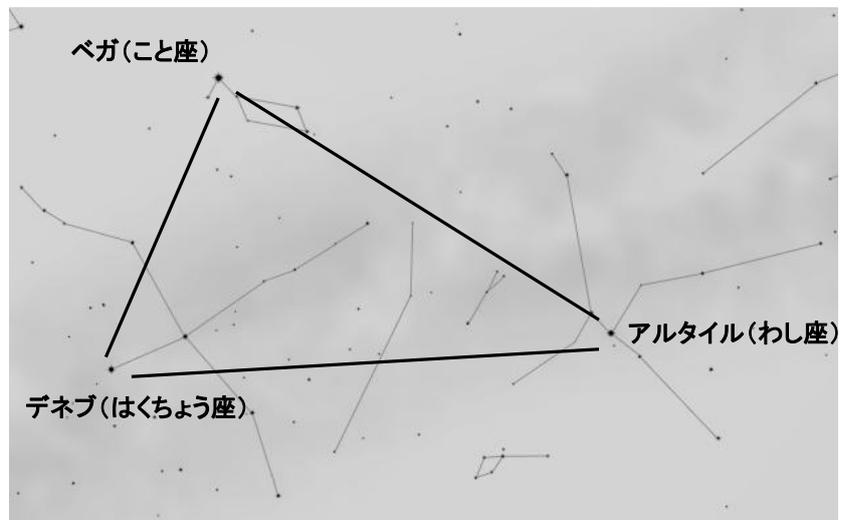


M22はいて座にある、約7万個の星からなる球状星団です。私たちから約1万光年の距離にあります。

## 夏の大三角

夏の大三角は、夏を代表する三つの一等星が作る三角形です。

こと座のベガは七夕のおり姫星、わし座のアルタイルは彦星として有名です。



資料のデータは天文年鑑、アストローツから引用しています。  
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。  
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

**8月の天文教室は8月9日(火)と10日(水)の2回開催!!**

時間は2日とも20時から21時まで

(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)

事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会